

1 瑞穂区の魅力が輝くまちづくりをすすめます

(1) 個性と魅力を活かすまちづくりの推進

現状と課題

瑞穂区の魅力といえば、「さくらの名所 100 選」に認定された山崎川のサクラが有名であるほか、^{おおぐるわ}大曲輪遺跡や藤原師長^{たつきよ}謫居跡などの史跡が数多く存在しています。また、区の西部を中心に工場や事業所が立地し、中心部には市民のスポーツの総合的な拠点として親しまれているパロマ瑞穂スポーツパーク（瑞穂運動場）があり、サッカーJ1 名古屋グランパスのホームスタジアムとして活用されています。

これまでも瑞穂区では、「MIZUHO さくらまっぷ」や「史跡散策路」により魅力の発信につとめてきましたが、今後も引き続き魅力の発信をしていくことが必要です。

※謫居…罪によって、自宅に引きこもったり、遠くの土地へ流されたりしていること。また、その地の住居。

◇従業員数が 1,000 人以上の製造業の事業所数

名古屋市内	瑞穂区内
6	2 (16 区中、1 番目)

平成 24 年経済センサス基礎調査



【史跡散策路】

指標

事項	26 年度	27 年度（目標）
区民アンケート 「瑞穂区が魅力的なまちだと思う人（※）」の割合	89.5%	90%以上
地元の魅力発見！お仕事体験事業参加者アンケート 「瑞穂区の新たな魅力を知ることができたと感じた人」の割合	—	90%以上

※「思う」「まあまあ思う」と回答した方

主な取り組み

・サクラのまち瑞穂づくり（さくら写真展、さくらフードコンテスト、山崎川のライトアップ、開花状況の区ホームページでの発信 など）（まちづくり推進室・土木事務所）

「みずほのさくら写真展」や、サクラにちなんだ食べ物のコンテストなどを開催し、瑞穂区の区の木、区の花であるサクラを通じて瑞穂区の魅力を発信します。また、開花状況をツイッターやフェイスブックでお伝えするほか、山崎川の夜桜を楽しんでいただけるよう、3月下旬～4月上旬にライトアップを行います。



【平成 26 年度さくらスイーツコンテストグランプリ作品】

◎環境を学ぼう～自然観察会・企業の環境保全の取り組み（まちづくり推進室）

区内に残された自然資源を活かし子ども向け体験型の環境学習を実施します。また、区内企業のエコの取り組みを学習し、社会活動の中での循環型社会を学ぶ機会とします。

◎地元の魅力発見！お仕事体験（まちづくり推進室）

区にゆかりのある企業や行政機関の仕事を知ること、区の新たな魅力を発見し、愛着を深めていただくきっかけとします。また、そのほかにも、地元の魅力を発掘していきます。

・音楽による地域のにぎわいづくり事業（まちづくり推進室）

サクラの開花時期など、季節の折々にコンサートを開催するほか、各種イベント等での演奏を通じて、地域住民・学校・企業などの交流の機会とにぎわいを創出します。



【音楽による地域のにぎわいづくり】

◎トップ・スポーツチームとの連携事業（まちづくり推進室）

名古屋グランパスやHC名古屋など、瑞穂区に本拠地を置くトップ・スポーツチームと連携しスポーツイベントを開催します。瑞穂区の魅力のひとつであるトップ・スポーツチームをPRするとともに、地域のスポーツ振興をはかります。

・「なごや学マイスター講座」の開催（生涯学習センター）

瑞穂区の魅力をより広めていくために、桜を使ったスイーツ「さくらスイーツ」づくりによる魅力PRや、まち歩きを通して区内の史跡を案内したりする人材を育成することを目的とした「なごや学マイスター講座」を開催します。

・「なごや学講座」の開催（生涯学習センター）

市民一人ひとりが名古屋に愛着を感じ、誇りに思うことができるように、名古屋の歴史や文化、産業、自然など様々な視点から、名古屋をより深く知り、名古屋の魅力を再発見できるようにすることを目的とした「なごや学」の講座を開催します。

◎瑞穂区マスコットキャラクター付医療証カバーの配付（保険年金課）

子ども医療証等のビニールカバーに、瑞穂区マスコットキャラクター「みずほっぺ」がデザインされたシールを貼付してお渡しし、「みずほっぺ」のPRをするとともに、瑞穂区への愛着を深めていただくきっかけとします。

*区の魅力向上やお客様満足度向上のため職員が自由に意見交換する「オフサイトミーティング」による職員提案に基づく取り組みです。



区民アンケートでいただいたご意見

☆道路や街路樹が美しいこと、穏やかな環境や人…等、生まれて育った瑞穂区が好きなので、今後もそれを大切に、より良い方向へ、お願いします。

☆瑞穂区ならではの土産を開発して瑞穂区をアピールしてほしい。

☆せっかく「みずほっぺ」というかわいいキャラクターが誕生したのだから、積極的に活用してPRを行っていくべき。

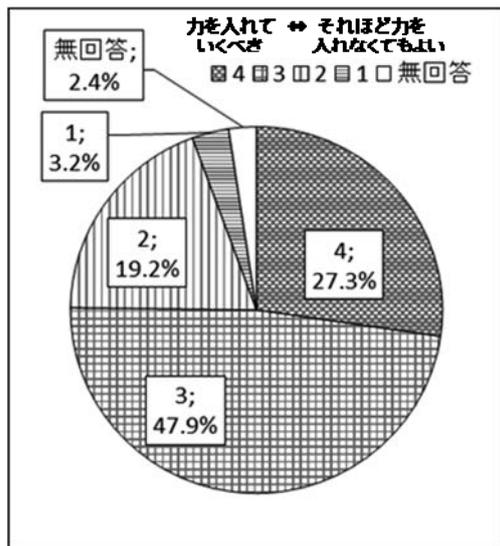
1 瑞穂区の魅力が輝くまちづくりをすすめます

(2) 地域とともにすすめるまちづくりの推進

現状と課題

区民まつりを始めとした区民との協働によるまちづくり事業は、区民が相互に交流する機会となっているとともに、区民が地域活動に参加する契機となっています。今後、さらに区の特長・魅力を活かしながら、様々な年齢層や団体との交流の機会を提供することにより、地域の誰もが、地域の活動に主体的に参加ができるまちづくりをめざしていきます。

◇「地域とともにすすめるまちづくりの推進」の取り組みについて



平成 26 年度瑞穂区区民アンケート結果

◇みずほ生涯学習センターまつり参加者数

年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
人数	2,708	3,379	— (注)	2,753

(注)台風の影響により中止



【瑞穂区民まつり】

指標

事項	26 年度	27 年度 (目標)
区民アンケート 地域の事業やイベントに参加した人の割合	57.8%	60%以上

主な取り組み

・瑞穂区民まつり 2015 の開催 (まちづくり推進室・生涯学習センター)
企画・運営を地域団体とともに行い、出展・出店・発表の場を提供することで、区民・学校・団体・企業と行政の協働、地域コミュニティを始めとする区内全体の活性化をめざして、パロマ瑞穂レクリエーション広場及び生涯学習センターで開催します。

・「ヤングサポーターみずほ」の活動の支援（まちづくり推進室）

区内7校の高校生が行政・地域と連携し、交通安全市民運動や青少年の健全育成運動、区民まつりなどに参加します。また、「広報なごや」などの広報媒体で各校の活動を紹介します。

・学生との協働による区の魅力発信（まちづくり推進室）

区内大学等の学生との協働により、ウェブなどを活用し新しい視点で幅広い世代へ区の魅力を発信します。

・町内会・自治会活動への加入促進の支援（まちづくり推進室）

大規模災害等の際に共助の主体となりうる町内会・自治会の活動について「広報なごや」などで広く紹介する等により、新たな地域活動の担い手を探し出し地域の絆づくりをすすめられるようつとめます。

・生涯学習センターで活動する自主グループの支援（生涯学習センター）

瑞穂生涯学習センターで活動している自主グループについて、自主グループ講座や1日体験教室を開催したり、生涯学習センターが主催する事業の支援を依頼したりするなど、様々な場所や機会できごころの学習成果を発揮・還元できるよう支援します。

・生涯学習センターまつりの開催（生涯学習センター）

生涯学習の振興をはかるため、瑞穂生涯学習センターで活動する自主グループの学習成果の発表と、地域住民の方々との交流の場として「みずほ生涯学習センターまつり」を開催します。

・公園愛護会・街路樹愛護会・川を美しくする会の支援（土木事務所）

協働により安心・安全で清潔な公園・街路樹・河川を維持するとともに、制度・活動事例の紹介や、新規設立の呼びかけを行います。

○歩道橋ネーミングライツ・街路灯パートナー・まごころ遊具等の普及（土木事務所）

多くの法人・個人に地域貢献に協力いただけるよう、「歩道橋ネーミングライツ」「街路灯パートナー」「まごころ遊具」の制度の普及をすすめます。



区民アンケートでいただいたご意見

☆高齢者の多い地域に住んでいるので、防災・防犯の面で協力体制を作っていくため、交流の機会がもっとあれば、と思います。

☆盆踊りなど最近減っていますね、ふと、高齢者から子どもまでみな笑顔になれるところがあるといいなと感じました。

☆治安のよい安全安心な他の地域の人も住みたいと思ってもらえるような瑞穂区になってほしいと思います。最近マンションが多くなり、町内会や老人会などに入らない方も多くいらっしゃいますが、なるべく皆さんが参加し、隣近所のつながりのあるまちになることを望みます。

2 安心・安全で快適なまちづくりをすすめます

(1) 災害に強い安心なまちづくりの推進

現状と課題

東日本大震災を契機として、大地震への対策が重要視される中、名古屋市では、平成 25 年度末に南海トラフ巨大地震の被害想定を発表し、地震・津波ハザードマップを配布しました。瑞穂区では、震度が 6 弱から 6 強、津波浸水深が区の南西部で 1.5m 未満との被害想定となりました。(あらゆる可能性を考慮した最大クラス地震*の場合)

また、災害は地震だけでなく、台風や近年多発するゲリラ豪雨等による風水害もあり、これらの災害に対する対策や備えも必要です。

災害による被害を軽減するためには、行政による防災対策の充実も重要ですが、区民一人ひとり、さらには地域の中で、日頃から災害に備え、防災意識の向上をはかる必要があります。 * 千年に一度あるいはそれより発生頻度は低いが大規模な被害をもたらす地震

◇過去 5 年間の瑞穂区役所の非常配備数
及び避難勧告数 (単位: 件)

年度	非常配備	避難勧告	備考
22	4	0	うち地震による配備 1 件
23	9	1	
24	10	0	
25	5	0	
26	6	0	うち避難準備情報 1 件

◇避難所運営リーダー研修受講者数

年度	人数 (累計)
23	41 (41)
24	38 (79)
25	37 (116)

※平成 26 年度はフォローアップ
講演会を実施 (参加者 73 名)

◇南海トラフ巨大地震の瑞穂区の被害想定
(平成 25 年度公表 抜粋)

		あらゆる可能性考慮
最大震度		6 強
津波	浸水予想学区	高田、堀田、 穂波、井戸田
	最大津波浸水深	1.5m 未満
	浸水開始時間	120~720 分
対策前	死者数(冬・深夜)	約 200 人
	全倒壊数	1,500 棟
対策後	死者数(冬・深夜)	約 60 人
	全倒壊数	約 300 棟

◇平成 26 年度「自助力向上の促進事業」
瑞穂区実施状況 (平成 27 年 1 月末現在)

回数	147 回
人数	8,758 人

建物の耐震化率 100% の達成、家具等の転倒・落下防止対策実施率の 100% 達成や適切な避難行動の実施等の対策をすることで、**かなりの被害が軽減できます。**

※詳細は名古屋市ウェブサイトでご覧いただけます。

指標

事項	26 年度	27 年度 (目標)
避難所に係る防災に関する区民向けイベント (訓練・研修・セミナー等) の実施回数	13 回	15 回

◎ぼうさいカフェの実施（総務課・消防署）

災害時に身近な問題となるトイレなどをテーマに講演やワークショップを開催し、防災について関心を高めていただき家庭における自助力や地域での防災力の強化につなげます。

○避難所運営リーダーの養成（総務課）

発災時に地域の皆さんで円滑に避難所を運営していただけるよう、新たな避難所運営リーダーの養成に取り組むとともに、過去に研修を受講したリーダーに対するフォローアップ研修も実施し、地域における防災力の更なる向上をはかります。



【災害用トイレ】

・「助け合いの仕組みづくり」の推進（総務課）

災害時における「助け合いの仕組みづくり」に取り組む地域を拡大するとともに、関係機関と連携をしながら、名簿を活用した訓練ができるよう地域を支援します。



【シェイクアウト訓練】

・津波避難ビルの指定（総務課）

津波被害から人命を守るため、一時避難所としての津波避難ビルを指定するとともに、津波避難ビルの周知や、区民の皆さんの津波避難訓練を支援します。

・ツイッターを利用した災害情報の発信（総務課）

災害時に区民が身を守るために役立つ情報をすばやくお知らせできるよう、区内の状況をツイッターで発信するための訓練などの取り組みをすすめます。

・防災に関する講座の開催（生涯学習センター）

地震や豪雨・台風などといった自然災害について、発生のメカニズムや区内で想定される被害状況、防災・減災のためにできることなどについて学び、防災に対する区民の意識向上と備えを進めていくための講座を開催します。

・災害対策の充実（実践的な自主防災訓練、「自助力向上の促進事業」）（消防署）

小学校区単位で組織された防災安心まちづくり委員会を中心とした住民参画型の防火防災活動をすすめ、地域や事業所による自主的な助け合い活動を推進します。また、町内会単位によるきめ細かい実践的な自主防災訓練を取り入れるとともに、「自助力向上の促進事業」により、家具の固定、非常持ち出し品の選択など、家庭で行う防災対策の普及促進をはかります。

区民アンケートでいただいたご意見

☆災害について、実感がないので、不安は大きく、どうなるかということも想像できないので、力を入れてほしいです。避難訓練とか。

☆高齢者が多くなっている最近、避難方法も力を入れてください。

2 安心・安全で快適なまちづくりをすすめます

(2) 安全なまちづくりの推進

現状と課題

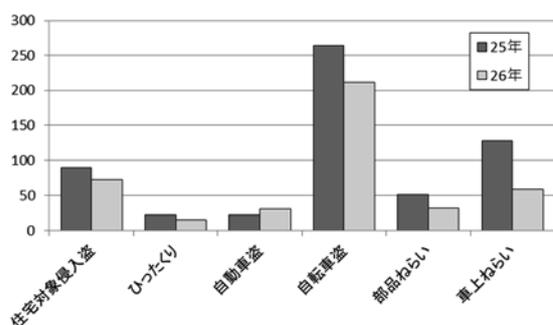
瑞穂区は、犯罪や交通事故などが他区より少なく、比較的安全な区です。

犯罪については、平成 26 年重点 10 罪種認知件数が 16 区中最も少なく、犯罪率でも最も低い区です。瑞穂区内の犯罪件数は、平成 15 年をピークに減少しており、平成 26 年は前年に比べ大きく減少しました。犯罪種別にみると、自転車盗の認知件数が重点犯罪の約 43%を占めています。また、自動車盗が微増しています。

交通事故については、平成 26 年の人身事故件数が 16 区中 2 番目に少なく、瑞穂区内の交通事故死傷者数は近年減少傾向にあります。平成 22 年からの交通事故死者数合計 10 人の内 9 人は 60 歳以上の方となっています。

犯罪、交通事故のこうした状況を地域に周知するとともに、状況に応じた効果的なパトロールや啓発活動などを行っていく必要があります。

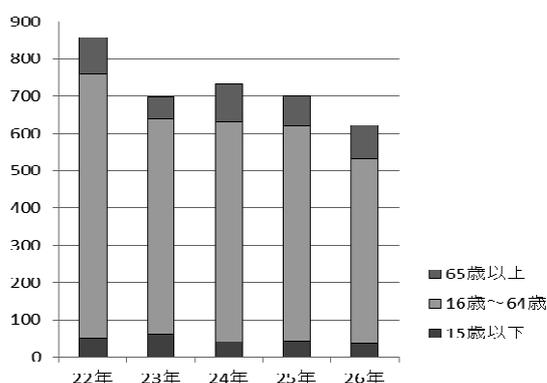
◇瑞穂区重点罪種発生件数（上位 6 件）



◇瑞穂区交通事故死者数

年	22	23	24	25	26
人数	2	1	1	5	1

◇瑞穂区交通事故死傷者数



【交通安全キャンペーン】

指標

事項	26年度	27年度（目標）
青色回転灯パトロール実施回数	30回	30回以上
交通安全啓発活動実施回数	48回	48回以上

○マスコットキャラクターを活用した安心・安全なまちづくりをすすめる啓発事業（まちづくり推進室）

交通安全や防犯等のキャンペーンの実施に際し、瑞穂区マスコットキャラクター「みずほっぺ」を活用して、安心・安全なまちづくりをめざす取り組みを、より親しみやすく身近に感じていただけるような形で啓発します。



【山崎川安心・安全フェスティバル】

・防犯対策の推進（まちづくり推進室）

小学校通学路や街頭犯罪多発地域を中心に、警察署等と連携してパトロールを継続して実施します。

また、防犯キャンペーンや啓発活動、地域防犯に関する地域での取り組みを推進します。

・交通安全対策の推進（啓発の実施、交通安全施設の設置）（まちづくり推進室・土木事務所）

各学区にて交通安全講習会の開催、老人クラブや学校等での行事への交通指導員の派遣交通指導を行うとともに、自転車利用者への啓発活動により意識の向上をめざします。

また、街路灯やカーブミラーなどの交通安全施設の設置・維持管理を行います。

・歩道のバリアフリー化の推進（土木事務所）

横断歩道箇所における歩道の切り下げと視覚障害者誘導ブロックの設置を併せて行うことで、バリアフリー化をすすめます。



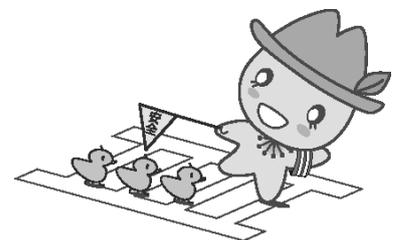
【歩道のバリアフリー化】

・通学路安全対策の推進（土木事務所）

小学校から半径 300 メートル以内の、歩道のない通学路において、路肩カラー舗装もしくは路面への「通学路」標示を行います。

・路面下空洞対策の推進（土木事務所）

調査により 10 センチメートル以上の空洞があると判明した箇所において、空洞補修の工事を実施します。



区民アンケートでいただいたご意見

☆防犯に取り組んでもらいたいです。パトロールなど。

☆自転車のマナーが気になります。歩道ではなく車道を走るよう声かけしてほしいです。

2 安心・安全で快適なまちづくりをすすめます

(3) 快適な環境づくりの推進

現状と課題

瑞穂区では平成18年度に「瑞穂区エコライフのまちづくり宣言」を行い、以降環境先進区をめざした取り組みを実施し、環境意識の向上をはかってまいりました。その中の取り組みの一つにあるように「ごみも資源も、元から減らす」発生抑制の視点で取り組みをすすめ、ごみの排出量を減らすことが重要です。

また、犬に関する苦情相談件数は平成25年度にいったん減少したものの、平成26年度には再び増加し、猫に関する苦情件数は平成24年度以降増加傾向が続いていることから、飼い主へのマナー向上のための啓発がますます重要となっています。

◇瑞穂区ごみ収集量の推移 (単位:t)

22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
20,388	20,373	20,400	20,249	20,402

※ごみ収集量は、市が収集した可燃、不燃、粗大、環境美化のごみ量の合計

◇犬・猫の苦情相談件数の推移 (単位:件)

	24年度	25年度	26年度
犬	88	77	115
猫	124	155	208

指標

事項	26年度	27年度(目標)
区内年間ごみ排出量	20,402 t	前年度より減
区民アンケート「犬のふんが気にならない」人の割合(※)	37.0%	40.0%

※「気にならない」「あまり気にならない」と回答した方

主な取り組み

・「環境デーみずほ2015」の開催(まちづくり推進室)

御劔学区を中央会場として、楽しく環境について学べるイベントを実施するほか、区内全域で清掃活動などに取組みます。



【環境デーみずほ2014】

・ **水辺の生き物観察教室などの環境イベントの開催（保健所）**

山崎川親水広場における水辺の生き物観察教室をはじめ、地域の集まりや環境学習のイベントなど様々な機会をとらえて、環境学習を推進します。

・ **「愛犬クイズラリー」の開催（保健所）**

10月に、犬の散歩が多い山崎川沿道で、犬の飼い方マナーアップに関するクイズラリーを開催します。ゴール地点ではなんでもしつけ相談や飼い主の方への健康づくりアドバイスなども行います。



【愛犬クイズラリー】

○ **犬や猫の適正な飼い方の啓発推進（保健所）**

犬や猫による迷惑発生防止のため、飼主への指導と効果的な啓発活動をすすめます。不適切な飼い方や飼主のいない猫に起因する危害・迷惑の発生防止のための啓発についてもあわせて推進します。

また、猫に関する被害でお困りの方へ忌避方法の紹介や忌避装置の貸し出しも行います。

・ **新瑞橋クリーン作戦の推進（まちづくり推進室）**

美化推進重点区域である新瑞橋周辺と、山崎川周辺の清掃活動を、関係公所との連携をはかりながら実施します。

・ **河川の清掃活動（土木事務所・パロマ瑞穂スポーツパーク）**

社団法人名古屋建設業協会の協力により山崎川の清掃及び河川に関する情報収集を行い、細やかな河川の維持管理を実施します。

・ **ごみ減量、ごみ・資源の分別、適正排出の促進（環境事業所）**

小学校出前授業を行うほか、イベントなど様々な地域の活動や、お問い合わせの応対など機会をとらえて、ごみ減量、分別及び排出抑制の意義、必要性等についての啓発をすすめていきます。集団資源回収やリサイクルステーションを活用して古着・雑がみの回収の促進をはかります。

・ **不法投棄の防止（環境事業所）**

廃棄物の不法投棄を防止するため、不法投棄の要注意場所の巡回パトロールや夜間パトロールを実施します。

・ **ごみ・資源の収集における区民サービスの向上（環境事業所）**

丁寧で確実なごみ・資源の収集に取り組みます。また、高齢者や障害者などのひとり暮らし世帯で、ごみや資源を所定の場所まで出すことが困難な世帯を対象に、原則として玄関先で収集する「なごやか収集」を実施します。

区民アンケートでいただいたご意見

☆地下鉄新瑞橋バスターミナル及び近辺の美化整備を望みます。

☆犬のふんもそうですが、公園で犬を放す人がいて困っています。

☆引っ越してきましたが、いろんな面で満足しています。家の前にごみを出せば持って行ってもらえるなど、ありがたく思います。

3 健康でいきいきと暮らせるまちづくりをすすめます

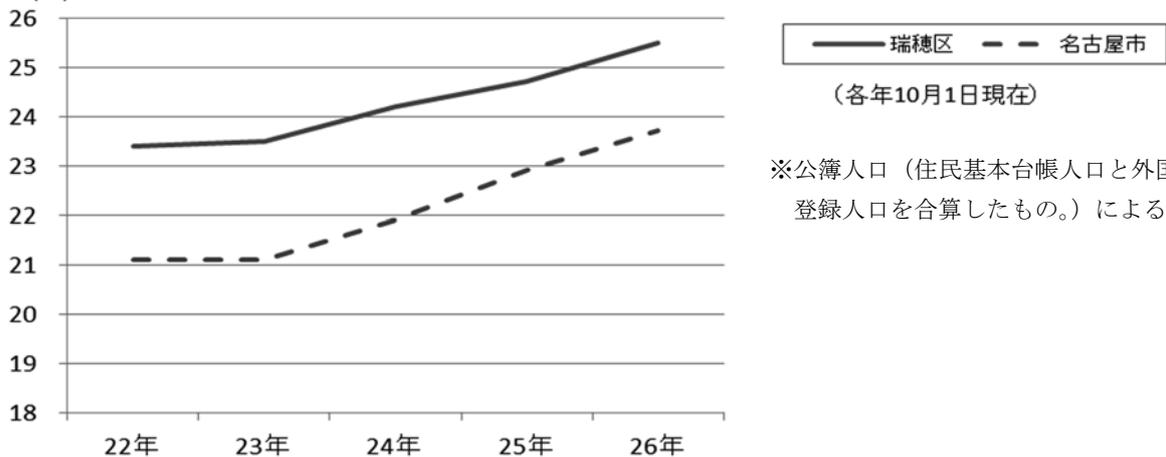
(1) 福祉活動の推進

現状と課題

瑞穂区の高齢化率（65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合）は名古屋市平均より高く、高齢化が進んでいます。ひとり暮らし高齢者数も年々増加傾向にあり、地域ぐるみの見守りや支援が必要です。

また、障害者支援をすすめるため関係機関との連携を強化しています。障害者に対する「心のバリアフリー」をはかれるよう、障害者が地域の中で普通に暮らしていくために、障害者理解のための普及・啓発活動を行っています。

◇瑞穂区における高齢化率推移 (%)



◇65歳以上ひとり暮らし世帯数の推移

(各年10月1日現在)

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
名古屋市	70,437	84,413	86,973	89,262
瑞穂区	3,806	4,507	4,694	4,864

※平成22年国勢調査確定値に基づく推計

指標

事項	26年度	27年度(目標)
地域支えあいマップづくりに取り組んでいる町内数	11学区 224/249町内	11学区 230/249町内

主な取り組み

○緊急時医療情報ツール「みずほっぺあんしん情報シート」の普及（福祉課・消防署）

医療情報や緊急連絡先を把握するためのツールを高齢者世帯に提供し、ご本人や周りの方が緊急時への備えとして活用できるようにする事業をはじめ、高齢者を支える福祉活動をすすめます。



【みずほっぺあんしん情報シート】

○地域における助け合い・支え合い活動の推進（区社会福祉協議会）

第3次地域福祉活動計画をもとに、拠点型サロンプロジェクトを開催し、誰もが集える地域の居場所づくりに取り組みます。

「地域支え合いマップづくり」の全町内実施を通して「ふれあいネットワーク活動」の拡大、地域に根ざした担い手の発掘に取り組みます。また、推進協あり方検討会や連絡会等を開催し、「地域力の再生による生活支援事業（地域支え合い事業）」を実施し、高齢者等の個別支援活動の充実をはかります。

○地域包括ケアの推進（福祉課・保健所・区社会福祉協議会）

「瑞穂区地域包括ケア推進計画」に基づき、孤立死防止の啓発、家族介護者の集う場「オレンジカフェみずほ」、寸劇等を活用した認知症サポーター養成講座の開催などをすすめます。また、地域ケア会議のモデル実施を拡大し、「社会的孤立からの新たなつながりづくり」をめざします。

・福祉会館事業の実施（区社会福祉協議会）

生きがいづくり・健康づくり・仲間づくりなどを目的に、趣味や各種講座の開催、介護予防事業・入浴サービスなどを実施します。また、児童館との共催で、子どもと高齢者との交流事業を行います。

○みずほ介護フェスタ '15（福祉課・保健所・区社会福祉協議会）

瑞穂区地域包括ケア推進計画のシンボリック事業として、作品展示や講演会、シンポジウムなどの内容で開催し、介護や地域包括ケアについて区民の皆様にご理解を深めていただき、高齢化の進む中での今後の地域づくりについて考える契機とします。



【みずほ介護フェスタ】

・障害を理解し、お互いに助け合う地域づくりの推進（福祉課）

瑞穂区障害者自立支援協議会と協力し、災害をテーマとした講演会と避難所シミュレーションゲームを開催します。また、障害者の就労支援の一環として、区役所内で授産製品の販売を実施します。

◎民生委員・児童委員PR事業（民生子ども課）

地域福祉の中心となって活躍している民生委員・児童委員、主任児童委員について、PR用DVDを作成してその制度や活動を正しく理解してもらい、支援が必要な方に安心して相談してもらえる環境を整えます。

・福祉ボランティア活動の推進（区社会福祉協議会）

区社会福祉協議会ボランティアセンターで、ボランティア活動に関する相談、コーディネート等を推進します。また、小学生向けのボランティア体験講座、手話講座、おでかけ応援ボランティアなどを開催します。

区民アンケートでいただいたご意見

☆瑞穂区は高齢者が多いまちです。孤立死防止に力を入れてほしいです。

☆高齢者の方が多く、その方を介護する家族等、介護者の支援・相談を充実させてほしいと思います。

☆福祉施設とイベントなどの共有を積極的に行い、住民と福祉をつなげる役割をもっと担ってほしい。

3 健康でいきいきと暮らせるまちづくりをすすめます

(2) 子育て支援の推進

現状と課題

名古屋市の人口構成をみると、15歳未満の子どもについて10年前と比べ人口、構成比ともに減少しており、少子化が進行しています。

また、核家族化の進行やライフスタイルの変化に伴い、身近に協力者や相談相手がおらず、子育てに悩みや不安を抱えている人が増えています。保護者に対して仲間づくりや相談の場を提供することにより、子育ての不安感・負担感や孤立感を和らげ、子育てを楽しむとともに、保護者が子どもと十分に向き合い、子どもの育ちを支えていける環境づくりが求められています。

◇15歳未満人口 (各年10月1日現在)

	名古屋市	構成比	瑞穂区	構成比
平成16年	296,888人	13.48%	12,678人	12.10%
平成21年	293,965人	13.01%	12,579人	11.93%
平成26年	285,283人	12.53%	12,745人	12.14%

名古屋市年齢5歳階級別人口(全市・区別)より



◇子育て相談件数

	24年度	25年度	26年度
瑞穂区子育て相談件数 (子育て総合相談窓口相談件数)	3,637件	3,626件	3,276件

指標

事項	26年度	27年度(目標)
毎月のさくらひろば申込組数における新規申込組数割合(定員40組)	32.65%	33%
保健所子育てサロンでの保健師による健康教育の回数	63回	60回
事故予防教室等で子どもの心肺蘇生法の実技体験をした親の人数	360人	380人
移動児童館の開設回数	13回	13回

・瑞穂区子育てサロン「さくらひろば」の開催など子育てしやすいまちづくりの推進（民生子ども課・保健所）

子育てしやすいまちづくりをめざし、子育てサロン「さくらひろば」を開催するとともに、地域の子育てサロンに講師を派遣しサロン内容の充実をはかります。また、「さくらひろば」及び地域の子育てサロンで、保健所の保健師・栄養士・歯科衛生士が出張子育て相談を行います。さらに、区独自に対象を拡大して実施する「赤ちゃん訪問」など、育児に対する不安解消・子育て家庭の孤立防止のための取り組みをすすめます。



【さくらひろば】

・子育て情報の発信（民生子ども課・保健所・土木事務所）

「瑞穂区子育てマップ」を赤ちゃん訪問の機会を中心に配布するほか、瑞穂区子育てネットワーク「さくらっこ♪」と協力し、区内の子育て情報を発信します。また、区内の公園情報をまとめた「子どもの公園マップ」を、母子健康手帳発行時等に配布するほか、区役所、生涯学習センターなどでも配布し、子どもの遊び場情報を提供します。（※「瑞穂区子育てマップ」、「子どもの公園マップ」は瑞穂区ウェブサイトでご覧いただけます）

・児童虐待のないまちづくりの推進（民生子ども課）

5月及び11月の「児童虐待防止推進月間」を中心に行うオレンジリボンキャンペーンなどの啓発活動により、区民のみなさまで子どもを守り育てる意識の向上をはかります。また、学校や主任児童委員との連携強化による地域での見守りの充実や、親支援プログラムの実施などを通して、子育てに不安を抱える方の支援をすすめます。

・子どもの事故予防・心肺蘇生法の普及（保健所）

子育て教室や地域の子育てサロンなどで心肺蘇生法の講習会を行い、親が子どもの命を守るようにするため、事故予防・応急手当の普及啓発をはかります。

・妊婦等を対象とした「絵本の読み聞かせ」体験（保健所・図書館）

パパママ教室において、母性を豊かにはぐくむための絵本の紹介や絵本の読み聞かせ体験を実施します。妊婦のパートナーにも参加してもらい、協力して楽しく子育てできるよう応援します。

・保健師による妊婦等へのブックスタート（保健所・図書館）

育児支援が必要と思われる妊産婦に、親子で楽しめる絵本を保健師が手渡し、母性をはぐくみ、育児を楽しめる子育て支援につなげます。



【ブックスタート（イメージ）】

・児童館事業の実施（区社会福祉協議会）

子どもたちに遊び場を提供するとともに、自主性や社会性を身につけられるような事業を実施するほか、子育ての拠点として、親子で楽しめる事業を実施し子育て支援を行います。また、コミュニティセンター等での移動児童館の実施、福祉会館との共催事業による子どもと高齢者の交流を行います。

区民アンケートでいただいたご意見

☆子どもたちを取り巻く環境について充実させてほしい、登下校の安全、下校後の遊び場の安全確保、虐待についてのポスター等充実など。

☆小学生等の小さな子どもが安心して遊べる環境の整備、場所の提供等を望みます。

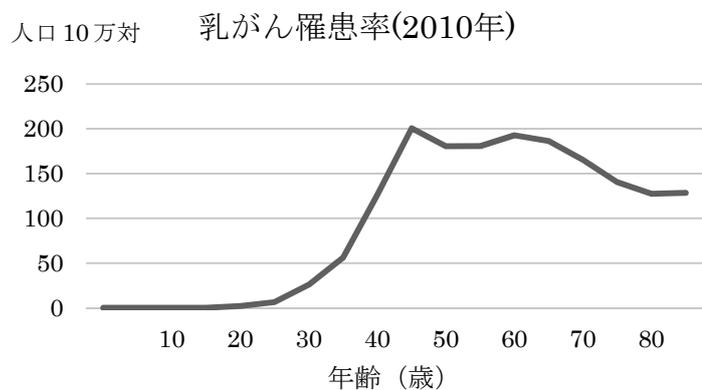
3 健康でいきいきと暮らせるまちづくりをすすめます

(3) 健康づくりの推進

現状と課題

瑞穂区では、平成 21 年 3 月に健康づくりのボランティアグループ「健康ささえ隊」が結成され、自宅近くの身近な場所での健康づくりとして「みずほ体操」を実施しています。また、健康づくり教室など様々な健康づくりのための取り組みも行っています。今後は、効果的な PR により幅広い世代の区民の方々が健康に対する関心を持てるようにすることが必要です。

このほか胃がん・大腸がん検診、乳がん検診を実施していますが、中でも乳がんは子育てや介護、仕事など女性として一番忙しい時期にかかりやすい病気であり罹患率・死亡率も年々増加しています。区民に身近な場所に出向いて検診を実施することにより、多くの方に受診していただくことが必要です。



(出典：国立がん研究センターがん対策情報センター)

指標

事 項	26 年度	27 年度 (目標)
「健康ささえ隊」への参加者数 (22 会場合計)	延 32,000 人	延 33,000 人
区民アンケート「みずほ体操」 を知っている人 (※)	21.7%	25.0%

※「知っている」「聞いたことはある」と回答した方

◎みずほ健康づくりマップの作成（保健所）

身近な場所で健康づくりができるよう、区内の自主的な健康づくりの場の情報をまとめた「みずほ健康づくりマップ」を作成し、区役所や保健所などで配布します。

・「みずほ体操」の普及と「健康ささえ隊」の活動支援（保健所）

様々な保健所事業や広報媒体を通して「みずほ体操」や「健康ささえ隊」の活動を紹介します。

また、「健康ささえ隊」が活動する区内 22 か所の「健康づくり会場」が、地域に浸透し、発展するよう、活動を支援します。



【健康ささえ隊の活動】

・男性向け健康づくり教室の実施（保健所）

男性が参加しやすい教室をめざし、男性限定で筋力アップなどを中心とした 5 日間コースの健康づくり教室を実施します。



【男性向け健康づくり教室】

・乳がん検診の出張検診の実施とPR強化（保健所）

30 歳代から増加し始め 50 歳前後にピークを迎える乳がんについて、利便性の高い場所での出張検診を実施します。また検診のPRを行いがん予防を推進します。

・食育推進協力店の充実（保健所）

食生活や健康に関する情報の提供や栄養成分の表示を行う「食育推進協力店」の増加をめざすとともに、既登録店への支援の充実をはかります。また「食育推進協力店一覧」を作成・配架し、市民のみなさまへ情報提供を行い、健康づくりをサポートします。

・高齢者サロン等における出張健康相談の実施（保健所・区社会福祉協議会）

地域で開催されている高齢者ふれあいサロンや高齢者ふれあい給食会等に、保健所及びいきいき支援センターの保健師等が出向き、出張健康相談を実施します。

区民アンケートでいただいたご意見

☆健康講座等企画してもらえれば、ぜひ参加しますのでよろしくお願いします。年間計画等で案内してもらえると参加予定もたてやすいかと思います。

☆一昨年から「健康ささえ隊」に入会し、歩くことの大切さ、健康につながることを知り、仲間があるから実行できることで感謝しています。各公園で体操（みずほ体操）をしています、いいことだと思います。

☆健康体操やラジオ体操等の回数を増やし、参加しやすくなるように地域の人で気軽に声かけができる人が増えるといいですね。

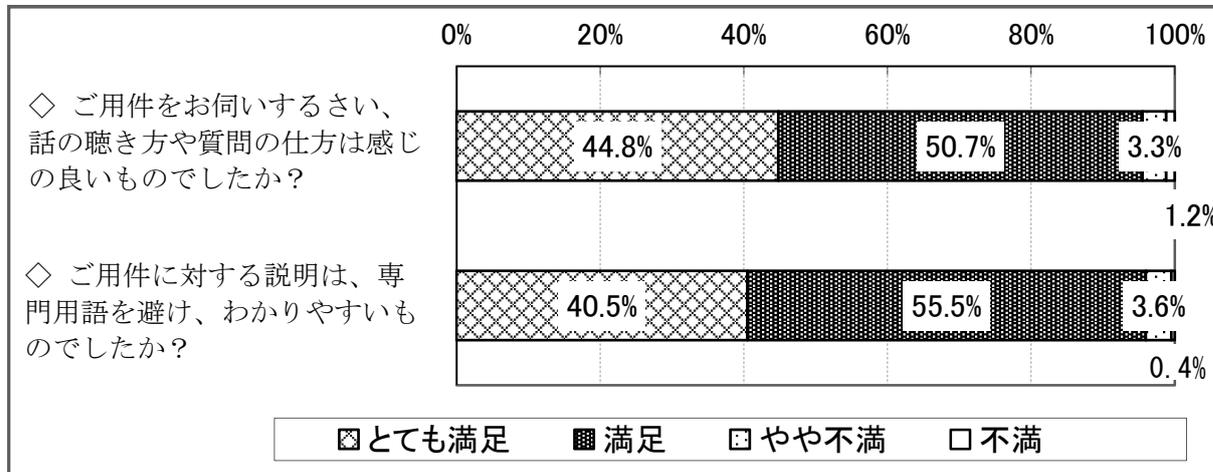
☆みずほ体操をネットで見ました。もっと普及するといいですね。

4 みなさまに満足いただける区役所づくりをすすめます

(1) 快適な窓口サービスの提供

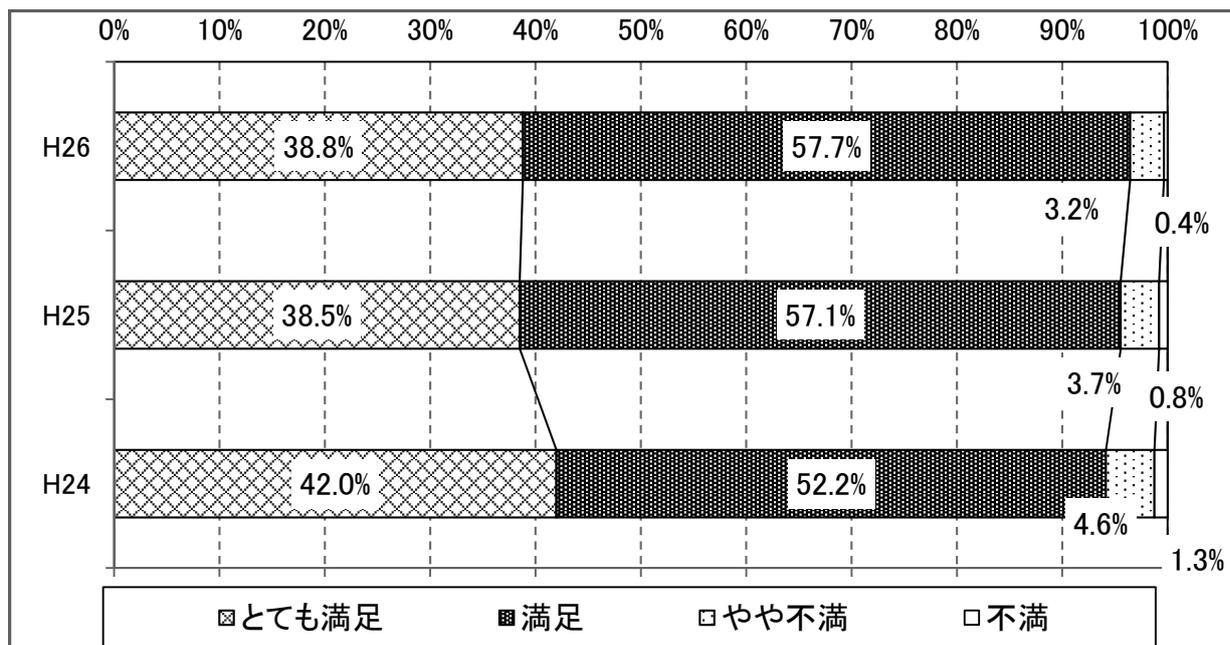
現状と課題

お客様目線に立って、親切・丁寧でわかりやすい説明を心がけ、区民のみなさまに快適な窓口となるよう、全職員が一丸となり、みなさまから信頼される区役所づくりに取り組めます。



※平成 26 年度 さわやか市民サービス運動 第 2 回「窓口アンケート」実施結果より

◇窓口サービスに対する総合満足度の三カ年比較



※平成24～26年度 第1回及び第2回「窓口アンケート」実施結果の平均値です。

指標

事項	26 年度	27 年度 (目標)
話の聴き方や質問の仕方についての満足度	95.1%	97%
わかりやすい説明についての満足度	97%	98%
窓口サービスに対する総合満足度	96.5%	98%

※平成 26 年度は 第 1 回及び第 2 回「窓口アンケート」実施結果の平均値です。

・ **お客様満足度向上・区役所サービス向上をめざした取り組みの実施（全課）**

職員研修などを通じて、迅速性に重点をおいたサービスをはじめ、よりよい対応を行い、お客様満足度の向上をはかります。

◎ **おもてなし向上事業（全課）**

瑞穂区マスコットキャラクター「みずほっぺ」をデザインに取り入れた明るい雰囲気椅子カバーを1階待合スペースに設置します。また、婚姻届を出されたお客様の思い出に写真撮影ができるようにするなど、みなさまに快適に過ごしていただける窓口環境の整備に取り組みます。

*区の魅力向上やお客様満足度向上のため職員が自由に意見交換する「オフサイトミーティング」による職員提案に基づく取り組みです。

・ **正確で迅速な住民票の写し等の交付事務（市民課）**

各種証明書類を正確で迅速に発行・交付します。

また、混雑時は、受付窓口を増やすなどにより、待ち時間の短縮をはかります。

・ **便利な各種証明サービス窓口と、社会保障・税番号（マイナンバー）制度の案内（市民課）**

居住区以外の区役所や開庁時間外でも住民票の写しなどの証明書等が取得できるサービス窓口の案内や、日曜窓口の開催日や窓口混雑状況などの情報を提供し、利便性の向上をはかります。

また、新たに始まる社会保障・税番号（マイナンバー）制度の広報を行い、区民サービスの向上に取り組みます。

・ **保険年金課窓口におけるフロアサービス実施（保険年金課）**

窓口案内・届書記載補助などを行うフロアサービス員を配置し、通常時の待ち時間10分以内、用件終了まで30分以内となるようつとめます。

・ **ボランティア清掃の実施（全課）**

毎月定例的に職員が区役所周辺の歩道を中心に清掃を行い、お客様に気持ちよくご利用いただけるようつとめます。

また、区内一円にわたって、保健所、土木事務所、環境事業所、消防署、社会福祉協議会や、区内の官公所（署）とも連携してボランティア清掃を実施します。



【ボランティア清掃】

区民アンケートでいただいたご意見

☆区役所の中で時々不親切な課があったりするので、高齢者が一人で行ってもわかりやすく説明してほしい。

☆他の自治体で起こっているような不祥事はないようにガバナンスをしっかりと行ってください。

4 みなさまに満足いただける区役所づくりをすすめます

(2) 広報・広聴の充実など

現状と課題

現在瑞穂区では広報なごや、区ウェブサイト、情報サテライト（地下鉄瑞穂区役所駅構内に設置）、行政情報モニター（1階待合スペースに設置）等を利用して区民のみなさまへの情報発信を行っています。しかし、各種イベントや区政の取り組み内容など、区民における認知度が十分であるとは言えず、更なる広報の充実が必要であると考えています。

そのため各戸配布の「広報なごや」については、情報を整理し、見やすい紙面づくりに引き続き取り組むとともに、平成26年度は多様な媒体での情報発信のツールを充実するため、区公式ツイッターやフェイスブックの更新を積極的に行い、情報の量的・質的な充実をはかっています。

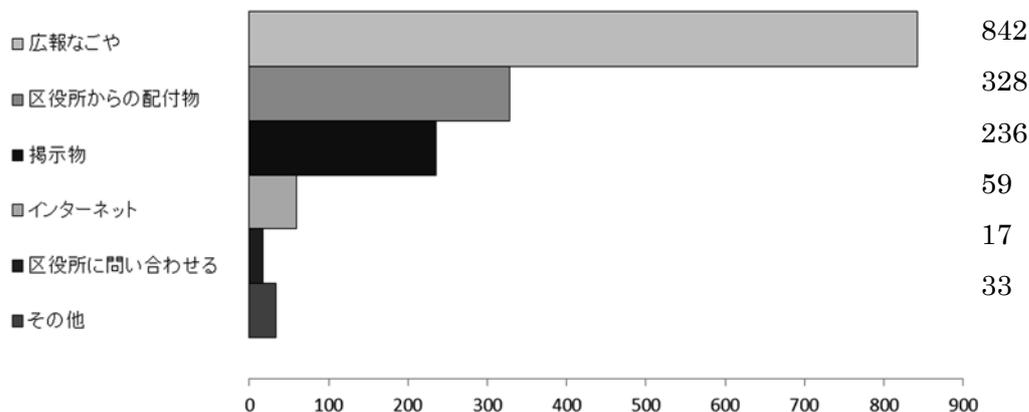
また、広聴活動については、より良い瑞穂区をめざしていくため、継続的に区民ニーズを把握していく必要があることから、区民のみなさまのご意見をお伺いするために地域懇談会や区民アンケート等を実施しています。

◇区ウェブサイト総ページアクセス数

	24年度	25年度	26年度
瑞穂区	429,584件	473,675件	584,524件

◇区役所の事業・行事・お知らせなどの情報をどのようにして（どの媒体から）入手していますか（複数回答）

(単位:人)



平成26年度瑞穂区区民アンケート結果（回答974件）

指標

事項	26年度	27年度（目標）
区ウェブサイト総ページアクセス数 （トップページを含む総てのページ）	584,524件	600,000件以上
区公式ツイッターのフォロワーの数	1,002件	1,100件以上

主な
取り
組み

・ **広報の充実（まちづくり推進室・企画経理室）**

広報なごや・区ウェブサイト・情報サテライト・行政情報モニター等を引き続き活用するとともに、ツイッターやフェイスブックなどのソーシャルメディアを活用した広報をいっそう推進し、積極的な広報を行います。



【フェイスブック】



【ツイッター】

・ **瑞穂土木だよりの発行、名古屋市ウェブサイトへのアップ（土木事務所）**

瑞穂土木だよりを年2回発行するとともに名古屋市ウェブサイトへ掲載し、より親しまれる土木事務所をめざします。

・ **区民アンケートの実施（企画経理室）**

区政運営に関して区民のみなさまの考えやご意見を把握し、今後のまちづくりに活かします。

・ **広聴事務（地域懇談会等）の実施（まちづくり推進室）**

地域住民のご意見・ご提案などを直接お聞きし、行政に反映させるとともに区政についての広報をはかります。

※地域懇談会・・・区長をはじめとした区内公所（署）長や関係局職員が各学区へ順次出向いて地域と直接意見交換をする場。

・ **明るい選挙の推進（総務課）**

「成人式における模擬投票」「選挙出前トーク」「選挙啓発区民講座」等に継続して取り組みます。また、選挙制度の動きを見据え、未来の有権者を対象に模擬投票を実施します。

○ **職員力向上（オフサイトミーティングの実施など）（総務課・企画経理室）**

職員が自由に意見交換するオフサイトミーティングを通じて、魅力が輝くまちづくりやお客様満足度向上の取り組みをすすめます。

また、区長と若手職員や所属の垣根を越えたコミュニケーションを活性化することで、区の提供するサービスを向上し、いっそうのお客様満足度向上につなげます。

○ **区政推進会議の実施（企画経理室）**

区内官公所（署）の連携をすすめ、区における総合行政の推進をはかります。今年度は災害時の情報発信などをテーマにいっそうの連携をめざした取り組みをすすめます。

区民アンケートでいただいたご意見

☆行事、お知らせ等、情報を得る手段が広報なごやのみです。色々なわかりやすい方法でもっと情報がほしいです。

※区民アンケートでいただいたご意見について

平成26年度瑞穂区区民アンケート調査において寄せられたご意見から抜粋・要約したものです。

アンケート調査の概要

調査期間：平成26年7月25日～平成26年8月7日

調査対象：瑞穂区に居住する満20歳以上の区民 2,000人（無作為抽出）

回答数：調査票 974件（回答率48.7%）

設問内容：平成25年度の区政運営方針の各施策について、今後力を入れていくべきか 等